



〒960-1241 福島県福島市松川町字東原 17-3
TEL 024-529-6901 (ベーシック憩内)

Web <https://www.nposhalom.net>
FAX 024-529-6902 (ベーシック憩内)

発行責任者：大竹静子

共に生きる仲間たちのコンサート 2025

十二月二十日開催へ
ひまわり感謝祭も同時開催

福島市の市民センターが完成し、四月から市民に開放されていることから、今年はこの市民センターの大ホールを使ってコンサートを開催することとなりました。大ホールでのコンサートをメインに企画することとなったため、今年のイベントのタイトルは「共に生きる仲間たちのコンサート二〇二五」分ち合い、命ががやいて」となり、会場には「ひまわりプロジェクト」に関連する展示も行い「ひまわり感謝祭」も同時開催となります。

シャロームでは、二〇二一・三・一の震災前までは、福祉施設に広く参加を呼びかけたコンサートを行ってきましたが、震災の影響・コロナ禍とそれができない状況が続いてきました。市民センターの建設計画は、震災前からあったのですが、遅れに遅れてやっと今年三月に完成しました。市民センターの一階には授産製品の販売コーナーも設けられました。今回のコンサートは、福祉施設の製品に触れ、コンサートを通して、障がい者の姿を一般市民にも知ってもらう機会となることも目指しています。

イベントの内容について説明を加えますと、「共に生きる仲間たちのコンサート二〇二五」は第二十九回となります。福島市内の福祉施設や市民に広く参加を呼びかけ、障がいを持つ仲間や市民のみなさんがステージに立ちます。歌・ダンス・詩などそれぞれの得意な演目を披露し、出演者・スタッフ・ボランティア、その場にいるすべての人々が主役となって作り上げていくコンサートです。「共生社会」を目指すイベントの福島モデルとなることを目指しています。

「ひまわりプロジェクト」は、一年間の収穫に感謝しながら行われるイベントが全国各地で行われるようになってきました。「ひまわり感謝祭」(第十五回)を福島だけで独占すべきではないとの判断もあり、イベントのメインタイトルから外すこととなりました。福島市周辺では、「土船ひまわりプロジェクト」での収穫感謝祭(芋煮会)、「大玉ひまわりプロジェクト」ではコンサートが計画され、事務局から「ひまわりプロジェクト」の紹介展示が行われました。

共に生きる仲間たちのコンサート 2025
日時 2025 年 12 月 20 日 (土) 13:00~15:30 (予定)
会場 福島市市民センター 大ホール
〒960-8111 福島県福島市五老内町 3-1
駐車場あり
内容 コンサート、ひまわり PJ の紹介展示、福祉事業所の展示販売会
入場無料。どなたでもお越しください。

(T・O)



九月八日深夜、三年ぶりという皆既月食。太陽・地球・月が一直線に並ぶ中で繰り広げられる、身近に見られる天体ショー。今夜の満月は赤い満月。

「起きていたら」と思いながら夜の空を見ると、雲がかかっていて月が見えない。朝型人間になってきている者にとって、深夜まで希望を繋いで起きているのは辛い。翌日の朝刊には、赤黒く染まった満月の月が載っていた。起きていれば現物を見られたかもと少し残念。

赤い満月が出ると、不吉な印だという意味不明な予言の話もどこからともなく流れてくる。原因は、地球の大気を通り抜けた太陽の光が月を照らすことによって起きる。赤く見えるのは夕焼けと同じ原理とか。原因の解らなかつた昔の人は、不吉な月としてさまざまな不安に重ねて見ていたに違いない。

何気なく繰り返される日々の営みにおいて、いかに神秘的な現象が多いことかと気づかされる。

(T・O)

ひまわりプロジェクト 2025

福島ひまわり収穫
GC 様より支援金贈呈

◆ 福島のひまわりを収穫

今年はとても暑い日が続
き、九月に入り徐々に気温が
下がってきてひと安心です
が、日中と朝晩の寒暖差が大
きくなり、体調を崩しやすい
時期ですので、風邪などに気
を付けてください。外ではセ
ミやカエルの合唱から、鈴虫
など秋の虫たちの合唱に移り
変わリ、秋らしさが深まって
きました。秋は夕暮れが早く
なってきましたので、事故に気
を付けてください。

さて、福島市のひまわりの
状況ですが、土船のひまわり
は八月十九日に収穫を行いま
した。ハウスでの乾燥も終わ
り、収量は約三十六kgになり
ました。笹木野のひまわりは
九月九日に収穫を行い、九月
中旬現在ハウスにて乾燥をし
ています。

今年はグンバイ虫が少な
く、様々な蛾(ガ)の幼虫が



▲ ハウスで乾燥中のひまわりの種。手前の丸いかごは、竹でできた「わらだ」といい、元々は養蚕の道具として使われていました。わらだに外した種を入れてあります。奥はガクから外しきれなかった種を、そのまま乾燥させているところです。



▲ 8/30 支援金贈呈式後にグリーンコープの皆さまと記念撮影。子どもひまわり大使の引率ボランティアをしてくださった方々も来てくださいました。

多かったです。蛾の幼虫はひま
わりの種やガクの中を食べてい
ました。特に鳥に食べられた所
は腐敗が進みやすく、種まで力
ビが発生していました。おそ
らく鳥に食べられた所は、鳥
が持っていた菌や雨水が入
り、更に蛾の侵入で拍車がか
かったのではないかと想像し
ています。よって鳥に食べら
れたひまわりは、早めの収穫
と乾燥がカビを抑えるのに有
効ではないかと思いました。
鳥に食べられたということ
は、種が出来てきたサインで
すので、鳥に感謝しつつ収穫
しましょう。

また、野生の動物は収穫の
時を感じるのが敏感です。今
年もひまわり畑隣の野菜畑
で、サツマイモを育てていま

したが、イノシシにかなり食
べられてしまいました。野生
の先生方からの激励だと受け
止め、収穫時期を見極めてい
きたいと思いました。

皆さんひまわりプロジェ
クトを通して、「自然」に触れ
る機会が多くなったのではな
いでしょうか。「実用日本語表
現辞典」によると、「自然」と
は「人間が直接関与していな
い全ての存在や現象」を意味
する表現とあります。そこに
意識を向けると、菌や微生物
といった小さくて目に見えな
い存在から、大地や空や太陽
などといった大きな存在があ
り、全てが関係し合い生と死
を繰り返す場に包まれます。
土に触れ、色とりどりの草
花や空の色を楽しみ、植物の
種を蒔き、収穫し料理して共
に楽しみながら食事をする。
そんなゆつくりとした時を過
ごすことが人間にとって自然
のような気がします。

皆さん、今年は良いひまわ
りの種がとれたでしょうか。た
とえ失敗だったとしても、それ
は次の糧にしてまた来年につな
げていきましょう。上手に育て
るにはひまわりの生理を知るこ
とが近道になります。近年は
温暖化の影響も考慮しないと
いけないのかなと思うところ
ではありますが、皆さんの心
のこもったひまわりの種をお
待ちしております。暑い中で
の作業、お疲れ様でした。心
から感謝申し上げます。

(ひまわりPJ 後藤)

◆ グリーンコープ様より支援
金を贈呈いただきました

ひまわりプロジェクトが始
まった翌年の二〇一三年から
今日まで、長きにわたり継続
してご支援くださっているグ
リーンコープ共同体様(以下、
GC 様)。

これまで、ひまわり油の原
料となる種の栽培に組合員の
皆様で取り組んでくださった
ほか、子ども保養を兼ねた「子
どもひまわり大使」の受け入
れにもご協力いただきました。
現在も、ひまわり油「みんな
の手」(一八〇g入り・千二
百円)を販売してくださり、
その売上のうち一本につき二
百円を寄付金としてお寄せい
ただいております。

ひまわりプロジェクトの情報はここから

ひまわりPJウェブサイト



ひまわり通信



Instagram



ひまわりの育て方はここから

栽培の豆知識など更新中!

最新情報はここから!

ありがとう
ございました



(地域連携センター 大竹)

念に掲げ活動されているGC
様は、シャロームのひまわり
プロジェクトに深く共感して
くださり、震災から十四年が
経った今も変わらず寄り添い
続けてくださっています。三
一を忘れず、助け合いの心
を形にしてくださる組合員の
皆様に、心より感謝申し上げ
ます。

教養講座 地元学を考える

第百五十四回「地元学を考える」
(二〇二五年七月十一日開催)

「松川の民話」

講師 渡部 八重子氏

今年もまた八重子さんの民話を聞く日が訪れました。毎年、とても楽しみに参加させていただいています。八重子さんの語りは、台本も決まり事も無く、とつとつとお婆さんが囲炉裏端で孫に語るように進んでいきます。

今回は、松川地区に伝わる話をいくつか語られました。「松川の三本杉」「松川の重ね石」「追いヶ森の送り狼」「赤まだらのお牛とお駒の話」「万燈の桜」「冷泉寺のどら猫」「鯉の話」など、次々に飛び出す話に時間を忘れて聞き入っていました。

「冷泉寺のどら猫」は「ごんぎつね」にも通じる内容で、人間たちの思い込みの怖さを教えてくれています。どら猫は、貧乏で自分の食事すらままならない和尚さんが、腹へこの自分に食べ物を恵んでくれたお礼に、いろいろ手助けしていたのですが、村人たちは「化け猫が悪さをしている」と決めつけて殺してしまい、後悔して猫を供養するけど、時すでに遅し。相手の話を聞かないことが、取り返しのつかないことになってしま

ったのです。

「鯉の話」は「浦島伝説」に似ています。嬉し楽しいことにうつつとを抜かしている、大事なことを見失ってしまい、気づいたときには後の祭りに。

昔語りは、年長者が子どもたちにも道徳や、事の善悪を教えるための手段であり、繰り返し聞くことで、物事に対して自己中心的な見方ではなく「相手はどう思うのだろうか」と考える力の基になるのではないかと思います。

今の時代、子どもが年長者の話を聞く機会はとも少なくなっています。そればかりではなく、同年代の友人とすら話をせず、ライン等の文字を介してやり取りをしています。他者が自分と違う場合、拒否すれば自分のエリアから簡単に締め出すことが可能です。言葉を交わすことがいかに大切な、考え直さなくてはならない時代になっていると思います。

八重子さんの「民話を語る」活動は本当に重要です。生の声で先人の言葉を伝え、聞いた子どもたちが「なぜそうだったか」を考えることをこれからも続けてほしいと思います。(渡辺 御門)



第百五十五回「地元学を考える」
(二〇二五年八月三十日開催)

「グリーンコープの共生社会創りの経緯と実践について」

講師 片岡 宏明氏

今回の地元学は、「グリーンコープの共生社会創りの経緯と実践について」のテーマで、グリーンコープ生活協同組合連合会専務理事の片岡宏明さんの講演でした。片岡さんと福島とのつながりは、東日本大震災の災害支援がきっかけだったそうです。現在、シャロームとは「ひまわりプロジェクト」を通じて交流が続いています。

今回の講座では、グリーンコープが誕生した経緯を社会背景に沿ってお話しいただきました。どのようにして「コープ(生活協同組合)」が福祉活動に取り組み、共生社会創りのための多様な活動、事業の展開を行うようになったのか、たいへん参考になるお話を伺うことができました。

一九六〇年代の高度経済成長期から始まった公害問題、食品汚染から「安心で安全な食品」を求める運動が始まり、グリーンコープが誕生したそうです。片岡さんたちが歩まれてきた活動には、「家族のいのちを大切にすることは、地球の人のいのちを大切にすることである」のいのちを大切にすることである

り、地球のいのちを大切にすることは地球そのものを守り、大切に共生すること」という理念があります。一つ目に「いのち」二つ目に「自然」、三つ目に「くら」の順で守っていかなければ利便さばかりが優先される社会になってしまいます。本質を捉えていかないと、違った方向に流れてしまう恐ろしさを感じました。

グリーンコープでは、生活困窮者問題、高齢化社会、子どもの居場所などの様々な社会問題との出会いから、「生協こそ福祉を」という考えのもと、組合員の幸せ、地域の幸せを求めるための活動をすすめてきています。

そのためには、社会での課題を国、行政、企業任せにするのではなく、市民が自分ごととして捉えることが必要です。これは、簡単なことではありませんが、様々な実践をされてきた片岡さんの「話し合う、学習する、体験することから人は変わる」というお話には、たいへん勇気をいただきました。

社会を良くする！と考えると難しくなりがちですが、私たち一人ひとりが「自分が願っていることができる」というスタンスで動き出すことなら、自分にも一歩が踏み出せそうです。グリーンコープの活動について、機会があればまたぜひお話を聞かせていただきたいと思いました。(石高 敦子)

渡辺さんと石高さんに感想文を寄稿していただきました。ありがとうございます。



地元学講座 オンライン配信

コロナ禍でリアル開催が難しくなった五年前から、教養講座「地元学を考える」のネット配信を続けています。毎月の講座開催後、動画の編集ができ次第 YouTube で配信しております。遠方の方にも地元学をお楽しみいただけるかと好評です。ぜひご覧ください！



QR コードからも
動画をご覧いただけます

URL

<https://www.youtube.com/@nposhalom>
YouTube チャンネル名 NPO 法人シャローム

チャンネル登録がおススメ

チャンネル登録と動画更新通知を ON にすると、最新のアップロード動画が見やすくなります。

教養講座 地元学を考える

第百五十七回 予告

地底人

〈講師〉三神 たける氏
(謎学研究家)

〈日時〉2025 年 11 月 29 日 (土)
13:30~15:00
〈場所〉まちなか夢工房 2 階
〈参加費〉500 円

〈講演内容〉

アメリカ軍が UFO (未確認飛行物体) を正式に認め、UAP (未確認空中現象) と呼んでいる。UAP を飛ばしているのは何者か。その飛行原理を分析し、亜空間の可能性を明らかにする。亜空間を作り出す技術がなければ UFO は飛行できない。本物の UFO を製造している知的生命体は何者か。彼らの拠点は遠い星ではなく、地面の下、地球内部の亜空間にあることを暴く。

〈講師紹介〉

1968 年、青森県生まれ。筑波大学自然学類卒業。
俗に「ムー的」なことと呼ばれる分野全般をみずから「謎学」と呼び、「既存の常識にとらわれず、素朴な疑問から大胆な仮説へ」をモットーに、その研究にのぞき、作品を月刊誌『ムー』で発表する。

*十一月二十五日(月)までにお申込みください。後日、YouTube にて配信いたします。

活動のご報告

2025 年 7 月 26 日～9 月 25 日

- 7 月 29 日 福島地域福祉ネットワーク会議(青葉学園)
- 8 月 2 日 〈ひまわり〉グリーンコープ様来訪
- 8/8・8/22 リアン ピアカウンセリング
- 8 月 9 日 夢工房〈イベント〉パン作り教室
- 8/11・8/13・8/20・8/27 憩〈販売〉カフェアンサンプル(福島市役所)
- 8 月 16 日 夢工房〈イベント〉小学生向け UD 体験授業 第一回
- 8 月 19 日 〈ひまわり〉青葉学園のひまわり収穫
- 8/22～8/23 夢工房・憩〈イベント〉いきいき!ふくし EXPO 出展(AOZ)
- 8 月 22 日 〈ひまわり〉大玉村のひまわり収穫
- 8 月 28 日 憩〈販売〉にじいろ day(福島市役所)
- 8 月 30 日 第 255 回 地元学講座
「グリーンコープの共生社会創りの経過と実践について」
片岡 宏明氏
〈ひまわり〉グリーンコープ様 支援金贈呈式
- 8 月 31 日 憩〈販売〉いきいき!ふくし夏祭り(福島駅)
- 9 月 1 日 楽膳 福島県ユニバーサルデザイン推進会議 参加
- 9/2・9/5・9/8・9/12・9/30 憩〈販売〉カフェアンサンプル(福島市役所)
- 9 月 6 日 憩〈販売〉フォーラム市場(福島市役所)
- 9 月 7 日 NPO〈イベント〉未来館フェスティバル(福島県男女共生センター)
- 9 月 9 日 〈ひまわり〉笹木野のひまわり収穫
- 9/9・9/30 夢工房〈イベント〉ゆるっとホ～ム
- 9/11・9/25 憩〈販売〉にじいろ day(福島市役所)
- 9 月 12 日 憩〈販売〉キワニス会展示販売会
- 9/12・9/26 リアン ピアカウンセリング
- 9 月 13 日 夢工房〈販売〉シネマのタベ
- 9 月 15 日 夢工房〈販売〉小さな村のマルシェ(大玉村)
- 9 月 20 日 夢工房〈販売〉とっておきの音楽祭
憩〈販売〉いきいき!ふくしマーケット(道の駅ふくしま)
- 9 月 25 日 〈ひまわり〉生活クラブ様来訪

活動予定

2025 年 9 月 26 日～10 月 25 日

- 9 月 26 日 〈ひまわり〉グリーンコープ様来訪
- 9 月 27 日 夢工房〈イベント〉小学生向け UD 体験授業 第二回
- 9 月 28 日 〈ひまわり〉大玉村ひまわりプロジェクトコンサート(大玉村)(シャローム協力)
- 9 月 30 日 楽膳〈講師〉六次化交流セミナー(白河市)
- 10 月 4 日 第 256 回 地元学講座
「福島復興学を考える」
山川 充夫氏
- 10/7・10/28 夢工房〈イベント〉ゆるっとホ～ム
- 10/10・10/24 リアン ピアカウンセリング
- 10 月 11 日 夢工房〈イベント〉小学生向け UD 体験授業 第三回
〈ひまわり〉グリーンコープ様来訪(被災地訪問ツアー)
- 10 月 13 日 夢工房〈販売〉パン&ベイク祭り(道の駅ふくしま)
- 10 月 18 日 憩〈販売〉いきいき!ふくしマーケット(道の駅ふくしま)
- 10/18～10/19 夢工房・楽膳〈販売〉LIVE AZUMA(あづま総合運動公園)
- 10 月 24 日 夢工房〈イベント〉オープン 22 周年(夢工房店頭)
- 10 月 25 日 リアン〈講座〉みんなの教室 第一回(福島市市民センター)



相談支援センターリアン

「みんなの教室」開催のお知らせ
～精神障がいについて学ぼう～

ご家族、当事者、事業所職員の皆さま

病気や障がいへの理解を深める講義を開催します。

また、ご家族向けに家族としての想いを分かちあう茶話会も開催します。

◇日程 13:30～15:30(講義 13:30～14:30/茶話会 14:45～15:30)

2025年10月25日(土)	「発達障がいについて」
2025年11月22日(土)	「統合失調症について」
2025年12月13日(土)	「訪問看護について」
2026年1月10日(土)	「家族の関わり方・家族の健康について」
2026年2月21日(土)	「地域での生活、福祉サービスについて」

◇会場:◇福島市 市民センター会議室(福島市五老内町3-1)

◇定員:40名 ◇参加費:無料

◇お申込方法:開催日一週間前までに、相談支援センターリアンまでお申し込みください。

TEL 024-573-8425(月～金/9:00～17:00)